

## <スクールアルバム>



### 〔全校遠足(新江の島水族館)〕

すごい。マンタ？



イルカのショーもみたよ。

小、中、高の縦割りグループ。  
1年間よろしく！



カメにえさをあげました。  
ドッキドキ。



### 〔防災散歩〕

避難場所を散歩しながら確認



注意事項をクイズで確認



## お願い・ご報告

- 新年度4月の行事は守られ、祝福されました。皆さまのお祈り、ご協力に感謝いたします。
- 今年度、HOPEの授業講師としてOM先生（調理）が入ります。よろしくお願ひします。
- 自転車通学者を対象に自転車安全指導・点検を実施いたしました。自転車走行の際は、くれぐれも事故のないよう、安全運転をしてください。
- スクールのホームページ外観をリニューアルいたしました。スクールの雰囲気や日常の様子などをご確認いただけますので、是非ご利用ください。
- 6月2日（木）オープンスクール「スクール体験の日」を行います。横浜市立小中学校の小学生に日常のスクール生活を体験してもらいます。在校生は通常登校です。下校は昼食なしの12時です。詳細は後日お知らせします。ご理解ご協力をお願いします。

## 今月のみことば

今月の暗唱聖句は、

「神は人をご自身のかたちとして 創造された。」創世記 1:27

“ So God created man in his own image.” Genesis 1:27

です。英語でも覚えましょう。是非ご家庭でもお子さまを励ましてあげてください。

## 祈祷課題

- スクール生一人ひとりが神さまの愛を受け取り、互いに受け入れ合うことができるよう。
- スクール関係者の皆さんのがコロナ感染やすべての災いから守られ祝福されるよう。
- スタッフ一人ひとりが主からの知恵をいただき喜びをもって指導にあたれるよう。
- 高等院HOPEや学童もそれぞれ祝福されるよう。



# のあインターナショナルスクール スクール通信 5月号

2022.May. 1

VO I .180

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

## 歩幅を合わせて

中学部担任 石川 優実

はじめまして。今年度からのあインターナショナルスクールで働くことになりました、石川 優実と申します。これからよろしくお願ひいたします。

私がこのスクールに関わるようになったのは、2020 年の秋頃です。コロナ禍でほとんど外出せず家に引きこもっていた当時の私は、自分の価値を見出せずにふさぎ込む日々を送っていました。他者と関わる機会が極端に減ったために、「自分なんていてもいなくても変わらない」というマイナス思考に支配されていたのだと思います。

そんな折、スクールのとある先生に声をかけていただき、授業ヘルパーとしてお手伝いをすることになりました。生徒たちの活気あふれる姿を間近で見ているうちに、鬱々とした気分はいつのまにか消え去り、「私はここにいていいんだ」と感じられるようになっていました。そして、自分に居場所を提供してくれたこのスクールで、今度は自分が生徒たちに居場所を提供したいと思い、スクールに就職することを決意しました。

スクールに惹かれた点はいくつもありますが、その中でも「生徒ひとりひとりの歩幅に合わせられる」ことがいちばんの魅力だと感じています。大人数の学級では、クラスの平均に合わせて授業を進めるため、ついていけない生徒もいれば、わかりきったことを聞かされて退屈する生徒もいます。しかしスクールでは、生徒の理解度に合わせて柔軟に対応することができます。一クラス 45 人、一学年 180 人の学校で育った私にとって、初めて経験する少人数の授業はとても新鮮でした。進みがゆっくりな生徒に対しては一学年前の内容に戻って教え、どんどん解き進める生徒に対しては次の学年の内容を教え、生徒が疲れていれば少し休ませ……と、臨機応変に対応する先生方に驚かされたものです。

今年の春から正式なスタッフとして働くようになり、改めて「生徒の歩幅に合わせる」ことの大切さを学ぶ機会がありました。4月 15 日、全校で新江ノ島水族館に出かけた際のことです。

電車を利用しての移動だったため、駅の人混みで子どもたちを見失ってはいけないと想い、小学生の女の子と手を繋いで歩いていました。私がいつも通りのペースで進んでいると、隣から「先生、歩くのはやすぎ！」と声が。大人と小学生では歩幅が違うという当たり前のことですが、その時の私は忘れていたのです。

教師になって初めての引率という気負いもあってか、私の頭は「決められた予定どおりに生徒を行動させる」ことでいっぱいでした。予定の電車に乗り遅れてはいけないと焦るあまり、肝心の子どもたちに目が行っていたことに気づかされました。また遠足に限らずふだんのスクール生活でも、「今日の授業でここまで終わらせないと」「明日までにこれを決めなくては」と自分の都合ばかり考え、生徒を置いてきぼりにしていないだろうか?と反省しました。

まだまだ未熟ではありますが、目の前の生徒の歩幅に合わせて歩む教師でありたいと思います。そして私自身も、自分の歩幅で少しずつ成長していきたいと思います。改めて、これからよろしくお願ひいたします。

**主によって 人の歩みは確かにされる。主はその人の道を喜ばれる。（詩篇 37 : 23）**

## 5月のカレンダー

日	月	火	水
1日	2日 スポーツ・レク大会 (5, 6限)	3日	4日
8日	9日 ○先生誕生日	10日 Eさん誕生日	11日 学部別礼拝(1限)
15日	16日	17日	18日 合同礼拝(1限)
22日	23日	24日 SA先生誕生日	25日 学部別礼拝(1限)
29日	30日	31日 尿検査①	

- ・ 2日（月）5、6限、昨年度末に実施できなかったスポーツ・レク大会を行います。昨年度の保健委員会が担当します。楽しい時となるよう、祝福をお祈りください。小1、2は、下校時刻が15時50分に変更となりますので確認をお願いします。また、雨天の時は通常授業、通常下校となります。
- ・ 6日（金）は、学部別新入生歓迎行事です。スケジュールや内容等、詳細については、各学部より連絡しますので確認をお願いします。
- ・ 21日（土）10時～11時30分、保護者会を行います。月井校長より子育てについて家庭で大切にしたい事などお話を聞き、皆さんで親睦の時を持ちます。ぜひご参加ください。なお、今年度の保護者会は、今回を含め、10月15日（土）、1月21日（土）の3回を予定しています。都合をつけてご参加くださるよう、ご協力をお願いします。
- ・ 26日（木）は、スタッフ研修会を行うため、生徒の皆さんは、1～4限授業、昼食、清掃、帰りの会となり、13時50分下校です。ご協力をお願いします。
- ・ 31日（火）に尿検査①、6月16日（木）に尿検査②を実施します。朝9時までに忘れずに提出してください。（できるだけ31日（火）に提出するようにしましょう。）
- ・ 5月中に、発育測定、避難訓練を行います。
- ・ 保護者、スタッフ向けにバイブルタイムを持っています。今月は12日（木）、19日（木）の13時15分～14時30分、サッカースクールエスペランサの小屋にて行います。詳細は保護者担当スタッフ（鈴木桜子、AK）までお問い合わせください。

第18回 入学・進級式 集合写真



木	金	土
5日 保護者・スタッフ向けバイブル会(13時15分～)	6日 学部別新入生歓迎行事 O先生誕生日	7日 Sさん誕生日
12日 保護者・スタッフ向けバイブル会(13時15分～)	13日 委員会活動(6限)	14日
19日 保護者・スタッフ向けバイブル会(13時15分～)	20日 クラブ活動(6限)	21日 保護者会(10時～11時30分)
26日 スタッフ研修会(4限授業)	27日 クラブ活動(6限)	28日 Oさん誕生日

## 子育てnote

子供は、自分の家の雰囲気を吸収しつつ成長します。私たちは、毎日の自分の言葉や語りかけによって、子育てをしていると思っておられないでしょうか。しかし実は、子供達は、私達の言葉以上に、私たちが造り出す家庭の雰囲気に影響を受けて、その雰囲気を飲み込んで、日々に成長しています。

皆さんのご家庭の雰囲気は、どのような雰囲気でしょうか。ある時、あるご家庭の中にお邪魔する機会がありました。その家に入ったとき、私は、その家庭の雰囲気からあまり良いものを受け取ることができませんでした。そしてこの雰囲気はどうしてなのかな、と考えていました。そのうちに、その家のお婆ちゃんが「自分の家の中でくらい、自分の気持ちや感情を偽らないで、そのまま正直に吐き出す場がなかったら、やってられない。」というような内容を口にされました。私はこの家の雰囲気は、この辺からくるかなと思って、しばらくその家で会話をした後で「もしも私たちが、自分の気持ちや感情をそのまま吐き出したら、私たちの気持ちはもっと悪い状態になりますよ。」といった内容のことを伝えました。そのお婆ちゃんとは、後で一緒に祈りをしました。

私たちは、時と場所をわきまえずに、感情をそのままオープンにして生活すると、不平不満や愚痴、人への批判がいくらでも出てきてしまいます。そのような言葉は、雰囲気を悪くしていきます。子供達には、きれいな良い空気を吸って成長して欲しいですよね。では、家に良い雰囲気が流れるためにはどうしたら良いのでしょうか。それは、このコラムを読んでくださっている方から始まります。上記に関連して、いくつかのポイントがあります。次回から少しずつ分ち合いでければ、と考えています。

校長 月井博

